

1200 | 日本画 VI

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

重政啓治教授、西田俊英教授、神彌佐子講師、東俊行講師、星見講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

日本画における装飾性や意匠（＝形象化）と構成について学ぶ。日本画素材の特徴のひとつである金箔、銀箔のあかし方、野毛等の技法や扱い方を知り、制作を通して箔を使用した装飾的空間表現を試み、自己の制作工程や描くモチーフの処理法などを考察する。

通信授業では、デッサン、下図等をもとにした画面上での構成、イメージによる造形、自由な展開への試みを行う。面接授業では、箔を扱い取り入れた描き方、描くことで発生する独自の形と構成を研究する。

課題の概要

○通信授業課題「意匠研究」

対象物を形象化し日本画の顔料を使うのに適した形を描く。又、制作工程を意識した日本画制作をする。

- ・制作を意識したデッサン、下図及び制作日記を制作する。
- ・制作工程を意識した F25 号以上の日本画制作をする。

○面接授業課題「表現研究」

素材と意匠を考え、構成による独自の形で 30 号以上の日本画制作をする。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『日本画 VI・VII／卒業制作 平成 29 年度』の「日本画 VI」、教科書『日本画・表現と技法』、『現代日本画の発想』をもとにした授業。

[面接授業]

第 1 日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（下図研究）
第 2 日	午前：箔指導（ゼミ）	午後：制作
第 3～5 日	午前：制作	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 日本画コース 3 年次必修科目の単位をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049 の特例を除く）。

[備 考] 油絵学科日本画コース 4 年次必修科目。

教材等

教科書：『日本画 表現と技法』（武蔵野美術大学出版社 2002 年）

『現代日本画の発想』（武蔵野美術大学出版社 2004 年）

学習指導書：『日本画 VI・VII／卒業制作 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）